

## 奥多摩大岳山（御坂尾根～サルギ尾根）山行報告

（望年山行 岩組 2日目）

（山域） 奥多摩  
（コース） 養沢神社～御坂尾根～大岳山～サルギ尾根～養沢神社  
（月日） 2016年12月11日（日）  
（天候） 晴れ  
（参加者） CL平野（良）、小原、萱野（香織）、齋藤（健志）、鈴木（玲子）、富樫（正）  
宮城、鶴田（記録）

（山行タイム） 大岳沢奥駐車場発 8：45～大岳山荘 10：40～大岳山頂 10：55～ヤブ尾根  
突入 12：20～駐車場着 13：35（今回の下山コースは当初予定の高岩山經由  
上養沢に下りるコースではなく、高岩山山頂 500m 手前の標高 950m くら  
いのところから真南に向かう尾根を下った）

今日もいい天気だ。前夜の宴が楽しかったので（幹事さんありがとう）、睡眠時間に差こそあれ一同元気に歩き出す。すぐに左手に大滝が現れる。なかなか立派な滝だ。大岳山周辺には見ごたえのある滝が多い。いきなり急登が始まる。踏み跡がかすかに認められる斜面は木の根、石ころを落ち葉が覆い滑りやすい。女性陣と齋藤さんはぐんぐん登っていく。私は半分四つん這いになって行く。前後に富樫さんと、リーダーが見守ってくれているので不安感は全くない。喘ぐこと 2 時間、登山道に出る。ハイカーが大勢行きかっている。左すれば大岳山荘が現れた。そこはもう大岳神社の境内で、二抱えもありそうな杉の間を登っていくと大岳山頂に出た。まず目に飛び込んできたのは秀麗な富士山。記念撮影をして幹事さん心づくしの昼食をいただく。満ち足りた気分で山頂を後にする。最初は御岳山へと続く立派な縦走路ですれ違うハイカーも多い。ヘルメット姿の我々をいぶかっている声も耳にする。縦走路と別れてサルギ尾根に入っても迷うことのない立派な道だ。1,000m 付近で先頭が道に沿って左斜面を下りかけたが、GPS 片手のリーダーの「尾根だよ、尾根を外さないように」の声に引き返し、いよいよヤブ尾根に踏み込む。傾斜は急だ。尾根を外さないように注意していくのだが、最後尾でリーダーがきちっと方角を見極めてくれているようなので安心して下っていく。ここでも女性陣が先頭で、我々男性陣はついていくのが精いっぱい。

（ほんとうに精一杯なのは私だけ？）でも楽しい。途中尾根が幅広くなっているところで右に行きすぎて尾根筋がわからなくなったが、すぐに左手に尾根筋を見つけてトラバース。どんどん下っていくと沢の音が聞こえ出し、駐車場の一角とおぼしきところが眼下に見えてくる。方角はドンピシャリだ。あらためて、リーダーの誘導とみなさんのルートファインディング的的確さに感心。最後駐車場に下りるところが崖になっていたが、ザイルをセットしてくれたので安心して下りれた。みなさんと握手していると満足感がこみ上げてくる。リーダーをはじめ同行のみなさん楽しいヤブ尾根山行をありがとうございました。



御坂尾根を登る



大岳山頂にて (バックは富士山ですよ)



下山して ああ楽しかった